

チョウザメ養殖の始動について

綾部市在住の一般府民の方から、新たにチョウザメの養殖に取り組んでみたいとの相談がありました。

チョウザメは最大1mを超える大型魚で、比較的寒冷域に生息しています。卵の塩漬けは高級珍味キャビアとして非常に有名である他、肉も欧米では高級食材として利用されていることから、日本各地で養殖に取り組まれています。

7月14日に体長約165mm、体重約13gの種苗約300尾が導入され、養殖が始まりました。府内ではチョウザメ養殖の事例はほとんどないため、他県の先行事例を参考に養殖指導を行っています。

導入から約50日が経過しましたが、若干の斃死は発生しているものの、概ね経過は良好で順調に成長をしています。

チョウザメは成長が遅く、食肉として出荷できるようになるまで3年、キャビアが獲れるようになるまでは7年がかかるとされています。それまで健全に飼育ができ、新たな特産物として出荷できるように今後も指導を続けていきます。



1区画あたり約100尾を導入



餌に集まるチョウザメ